

|                    |   |                               |    |               |        |      |    |
|--------------------|---|-------------------------------|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名<br>Course Name | 病名登録における人体の構造<br>Human Body Structure For Diseases Coding   |                               |    | ナンバリング<br>No. | D2-003 |      |    |
| 年次                 | 1年  | 期別                            | 後期 | 単位数           | 2      | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名              | 古川 貴子   |                               |    |               |        |      |    |
| 連絡方法               | C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。   |                               |    |               |        |      |    |
| 必修/選択              | 選択  |                               |    |               |        |      |    |
| 関連 DP              | DP1,DP3   |                               |    |               |        |      |    |
| 授業の概要と到達目標         | ICDコーディングによる病名登録において、正確なコーディングができるよう人体を構成する部位の名称・構造の知識を習得する。<br>① 人体を構成する部位の名称と構造について説明できるようにする。<br>② 人体の機能と構造から関連する疾患名のコーディングができるようにする。<br>③ 体系的な疾病のコーディング知識を身につけることができるようにする。 |                               |    |               |        |      |    |
| 授業の方法              | 人体を構成する部位の名称・構造について講義を中心に学習し、それをもとに各器官の働きや疾病とコーディングについてのグループワークと発表を行う。  |                               |    |               |        |      |    |
| 学習成果               | L01   | 人体を構成する各部位の名称と構造、機能について説明できる。 |    |               |        |      |    |
|                    | L02   |                               |    |               |        |      |    |
|                    | L03   | 体系的な疾病のコーディング知識を身につけることができる。  |    |               |        |      |    |
|                    | L04   |                               |    |               |        |      |    |
| 課題に対するフィードバック      | 小テストはテスト後に模範解答を示し、授業内に各自にフィードバックする。   |                               |    |               |        |      |    |
| 教科書/参考図書           | 教科書:ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版)、ICDコーディング、医療秘書技能検定問題集、資料配布   |                               |    |               |        |      |    |
| 履修上の留意点やルール等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータ教室は飲食禁止である。</li> <li>●各自USBメモリ(8GB程度)を持参すること</li> <li>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</li> </ul>                                 |                               |    |               |        |      |    |
| 担当教員の実務経験          |   |                               |    |               |        |      |    |

| 成績評価の方法と基準 |  |         |     |     |     |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域      | 評価基準   | 学習成果の割合 |     |     |     |
|            |  | L01     | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度     | 授業に積極的に取り組んでいる。  | 30      |     |     |     |
| レポート/作品    | レポートの提出期限日を守り、自分の考えを論理的にまとめている。  |         |     | 20  |     |
| 発表         | グループごとに各テーマについてパワーポイントを用いて発表を行う。発表内容(十分な考察、発表媒体をわかりやすくまとめている)や発表態度で評価する。 |         |     | 20  |     |
| 小テスト       | 授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い理解度に応じて評価する。   | 30      |     |     |     |
| 試験         |  |         |     |     |     |
| その他        |  |         |     |     |     |
| <b>合計</b>  |  | 60      |     | 40  |     |

| 回数 |         | 授業計画                                   |
|----|---------|--|
| 1  | 授業内容    | ガイダンス 病名登録における人体構造理解の必要性               |
|    | 事前・事後学習 | 授業内容について不明な点があれば積極的に質問に行く。準備物について確認する。 |
| 2  | 授業内容    | 全身の区分 確認テスト(1)                         |
|    | 事前・事後学習 | 図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。    |
| 3  | 授業内容    | 筋・骨格・皮膚 確認テスト(2)                       |
|    | 事前・事後学習 | 図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。    |
| 4  | 授業内容    | 頭部(脳・神経・感覚器) 確認テスト(3)                  |
|    | 事前・事後学習 | 図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。    |
| 5  | 授業内容    | 胸部(肺・心臓) 確認テスト(4)                      |
|    | 事前・事後学習 | 図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。    |
| 6  | 授業内容    | 上腹部にある各臓器 確認テスト(5)                     |
|    | 事前・事後学習 | 図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。    |
| 7  | 授業内容    | 背部にある各臓器 確認テスト(6)                      |
|    | 事前・事後学習 | 図書館やITを活用し、人体構造の名称を読むことができるようにしておく。    |
| 8  | 授業内容    | がんの種類とコーディングの注意点 グループワーク①              |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 9  | 授業内容    | 内分泌の疾患とコーディングの注意点 グループワーク②             |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 10 | 授業内容    | 血液循環器系の疾患とコーディングの注意点 グループワーク③          |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 11 | 授業内容    | 免疫系の疾患とコーディングの注意点 グループワーク④             |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 12 | 授業内容    | 運動器系・循環器系・呼吸器系の代表的な疾患 グループワーク⑤         |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 13 | 授業内容    | 消化器系・泌尿器系・生殖器系の代表的な疾患 グループワーク⑥         |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 14 | 授業内容    | 神経系・感覚器系・産婦人科系の代表的な疾患 グループワーク⑦         |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |
| 15 | 授業内容    | 全体の構造と主な疾患名 まとめ *発表・レポート提出             |
|    | 事前・事後学習 | グループごとに計画を立てて発表のための準備とレポート作成を行う。       |